

# 大分県災害派遣福祉チーム（大分DWAT）について

## 概要

### 【目的】

大規模災害発生時に、一次避難所等において、高齢者や障がい者等の要配慮者に対する支援を行う福祉チーム

### 【活動内容】

避難が長期化し、二次被害が生じるおそれがある場合に、発災後3～5日後から1週間程度派遣を行う。

- ① 福祉ニーズの把握
- ② 二次スクリーニング  
(劣悪な環境に長期間滞在することによる介護疲れや症状悪化を踏まえた福祉避難所への移送)
- ③ 相談対応と介護が必要な場合の応急的な支援
- ④ 避難環境の整備(福祉避難スペースの整備や避難所の段差解消、車椅子の動線確保等)
- ⑤ 福祉避難所の開設、運営支援

○大分DWAT登録者数（R7.4現在） **54** 法人 **270** 名登録

○大分DWAT登録者の保有資格（R6.12現在）

| 資格名     | 人数  |
|---------|-----|
| 介護福祉士   | 136 |
| 社会福祉士   | 71  |
| 介護支援専門員 | 48  |
| 看護師     | 34  |

※その他、理学療法士、精神保健福祉士等が若干名在籍

※2種類以上の資格を持つ方は複数回計上

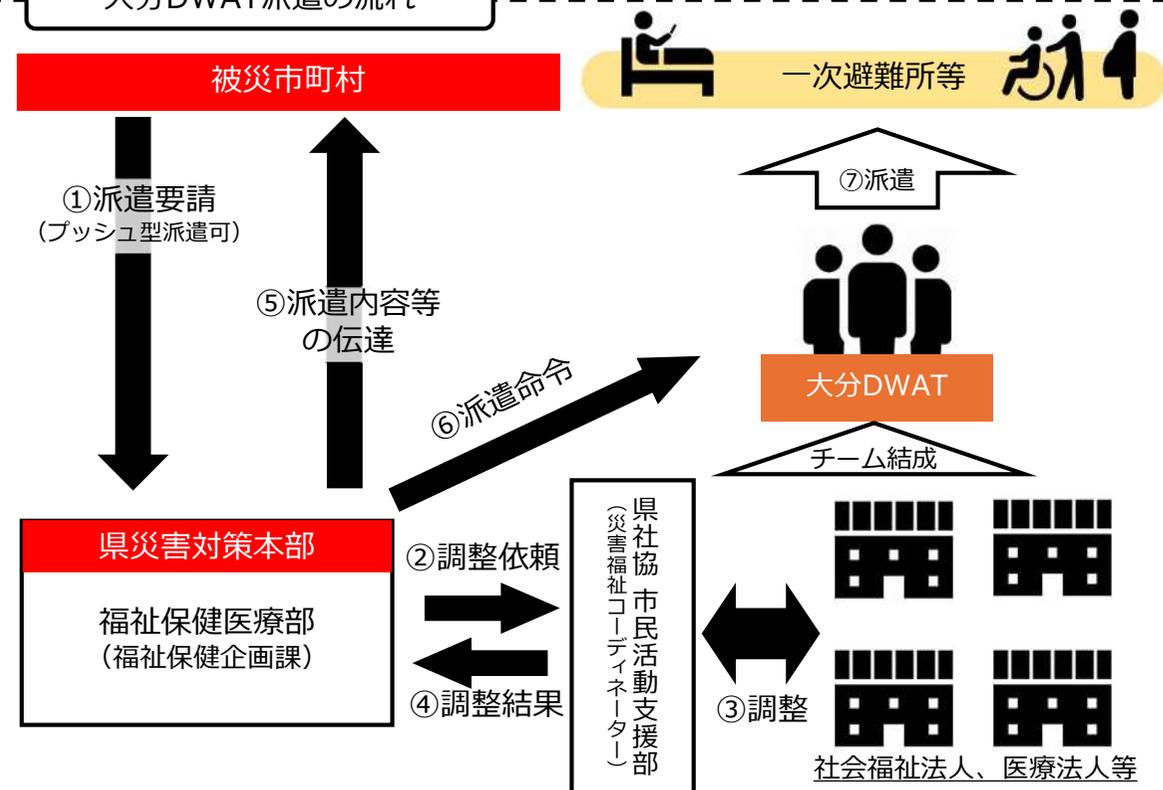
○大分DWAT登録者が勤務する主な施設

高齢者施設・事業所、障害児者支援施設・事業所、児童養護施設等

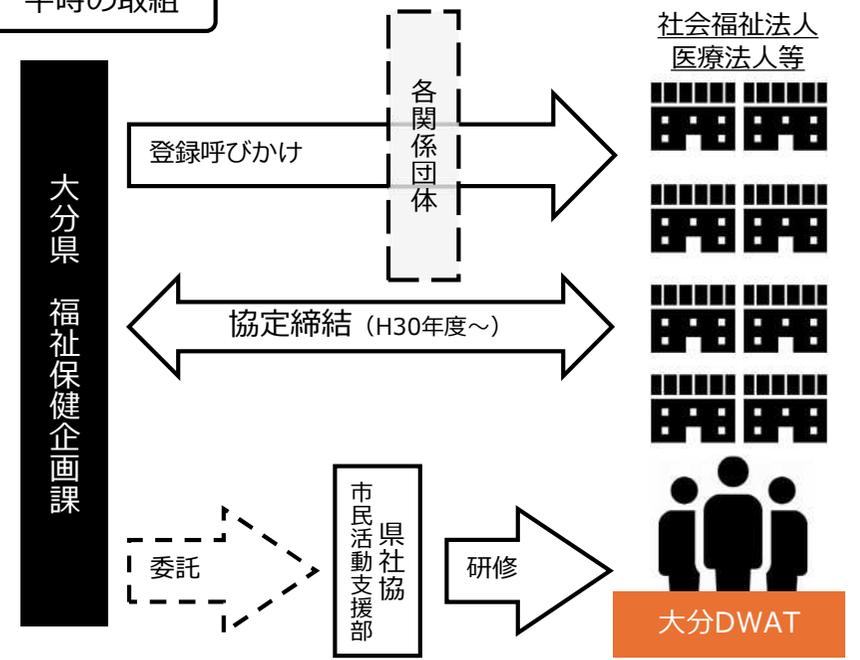
○大分DWATの派遣実績

| 災害名           | 派遣場所   | 派遣期間                   | 派遣人数 |
|---------------|--------|------------------------|------|
| 令和5年梅雨前線による大雨 | 大分県日田市 | 17日間<br>(R5.7.15~7.31) | 全29人 |
| 令和6年能登半島地震    | 石川県珠洲市 | 16日間<br>(R6.3.9~3.24)  | 全16人 |

## 大分DWAT派遣の流れ



## 平時の取組



# 大分県 災害時要配慮者に対する支援

発災前

当日～3日後

3～7日後

2週目～

1か月後～

避難終了

DMAT（災害派遣医療チーム）※場所を問わず救助活動

在宅要配慮者



避難開始（個別避難計画に基づく移動支援）

在宅避難、自主避難（知人宅等）

市町村保健師、県応援保健師

訪問・通所事業所、地域包括ケアセンター等による安否確認

一般避難所（福祉避難スペース）

市町村保健師、担当職員

県応援保健師（市町村の対応状況を確認した上で派遣）

**大分県災害派遣福祉チーム（大分DWA T）**  
※相談対応、病院・施設との連携、避難所の環境改善等

救護班（郡市医師会）、災害支援ナース

DPAT（災害派遣精神医療チーム）、こころのケア事業

JRAT（日本災害リハビリテーション支援協会）

※DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）= 災害対策本部機能等を支援

必要に応じて延長

第一次スクリーニング

第二次スクリーニング

福祉避難所（被害を受けていない福祉施設等）

（施設職員等による対応）

福祉避難所サポーター

必要に応じて延長

緊急入所、ショートステイ（被害を受けていない福祉施設等）

施設間相互応援協定（転院受け入れ）（職員派遣等受け入れ）

他都道府県等からの応援（全国DWA Tなど）

自施設における避難（垂直避難等）

施設間相互応援協定（職員派遣等受け入れ） ※職員が被災した場合等

自宅（修復後）、仮設住宅等

本来のサービスへ

入所要配慮者

避難開始  
（避難確保計画等）